エコアクション21

環境経営レポート

活動期間　2024年 9月 1日～2025年　8月31日

作成日　2025年11月7日

株式会社　長沢電機

〖　目　　次　〗

１．　事業の概要と対象範囲　1

２．　環境経営方針　2

３．　環境経営システム実施体制図　3

４．　環境目標と実績　4～11

- 4-1. 電力使用量
- 4-2. ガソリン(軽油)使用量
- 4-3. 二酸化炭素排出量
- 4-4. 廃棄物等総排出量
- 4-5. 水使用量
- 4-6. グリーン対象商品購入比率
- 4-7. 省エネ提案見積
- 4-8. 環境にやさしい施工
- 4-9. 地域への社会貢献
- 4-10. 作業効率の向上

５．　環境活動の取り組み（成果と課題）　12～17

- 5-1. 活動計画・実施
- 5-2. 採用活動
- 5-3. 社員教育(作業効率の向上を目指して)
- 5-4. 環境教育
- 5-5. 環境活動

６．　環境関連法規制の遵守状況　18

７．　代表者による評価と見直し　19

1. 事業の概要と対象範囲

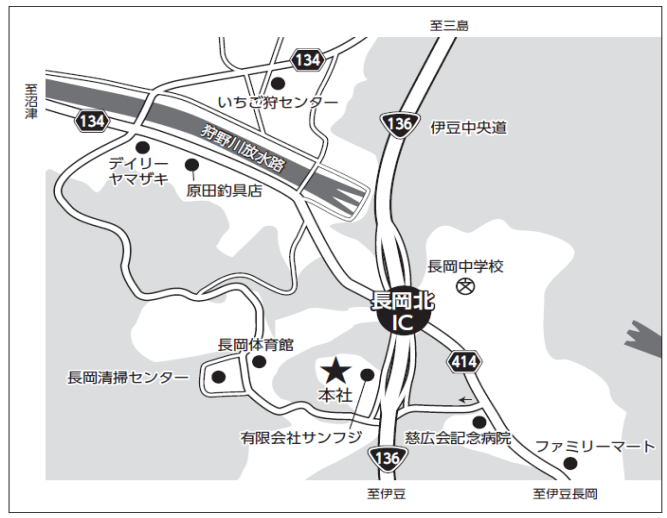
事業概要

事 業 所 名　株式会社長沢電機

代　表　者　代表取締役　長澤 大

所　在　地　本社/〒410-2214
静岡県伊豆の国市花坂305-5
TEL:055-946-0909
FAX:055-946-0910
URL:http://www.e-appliance.co.jp
MAIL:info@e-appliance.co.jp

函南営業所/〒419-0125
静岡県田方郡函南町肥田411-1
TEL:055-979-0909



資　本　金　2,000万円

沿　　革

昭和47年 9月	創業
昭和54年 4月	設立
平成 3年 6月	函南町に社屋移転
平成20年10月	伊豆の国営業所 設立
平成23年 2月	エコアクション21 認証取得【登録番号 0006674】
平成25年 4月	パナソニック(株)エコソリューションズ社 リニューアルコンテスト2012 優秀賞受賞
平成26年 4月	大東建託(株)協力会 功績表彰
平成26年 5月	(一社)静岡県建設産業団体連合会 功績表彰
平成27年10月	パナソニック(株)中部電材営業部 商品賞受賞
平成28年 6月	パナソニック(株)エコソリューションズ社 EM工事会社 登録
平成28年10月	代表取締役 長澤 大 就任
平成30年 6月	大東建託(株)協力会 安全衛生功績表彰
令和元年 8月	特定建設業許可 更新 [静岡県知事許可(特-01)第011864号]
令和 2年 9月	エコアクション21 登録・認証10年継続表彰
令和 6年 1月	伊豆の国市に社屋移転(現 本社) 函南営業所 設立(旧本社)

事 業 内 容　生活環境事業(居住・非居住分野)における電気設備の
トータルプロデュース、プランニング、設計、施工、メンテナンス

事業の規模

活動規模	単位	第45期 R4.9.1～R5.8.31	第46期 R5.9.1～R6.8.31	第47期 R6.9.1～R7.8.31
売上高	百万円	720	855	764
従業員	人	39	38	39
床面積	㎡	459.67	1361.35	1361.35

有資格者数　1級施工管理技士 7名　1級施工管理技士補 2名
監理技術者 7名　第1種電気工事士 17名

管理担当者　環境管理責任者 鈴木 紫
環境管理連絡担当者 長澤 明子
三須 香澄

対象範囲

事 業 年 度　第47期 令和6年 9月 1日～令和7年 8月31日

範　　囲　全社、全活動及び全従業員を対象とする

2. 環境経営方針

株式会社　長沢電機
環境経営方針

［ 基本理念 ］

株式会社長沢電機は、電気設備工事業に携わる事業所として
地球環境に与える影響を認識し、人間と自然が調和する豊かな
地球環境と限りある資源を後世に継承する為、自主的・積極的
に環境保全活動に取り組みます。

［ 行動指針 ］

1. 当社における事業活動が環境に与える影響を考え、環境経営システム【エコアクション21】を構築し、継続的な改善を行います。

① 二酸化炭素排出量削減に伴う使用エネルギー（購入電力・化石燃料）の削減
② 廃棄物の徹底分別による廃棄物排出量の削減・再資源化
③ 節水による水使用量の削減
④ グリーン購入の推進
⑤ 環境に配慮した電気設備や技術商品（オール電化・太陽光発電・省エネ商品への切り替え等）の提案、推進
⑥ 作業工程の見直しや新しい取り組みによる、作業効率の向上

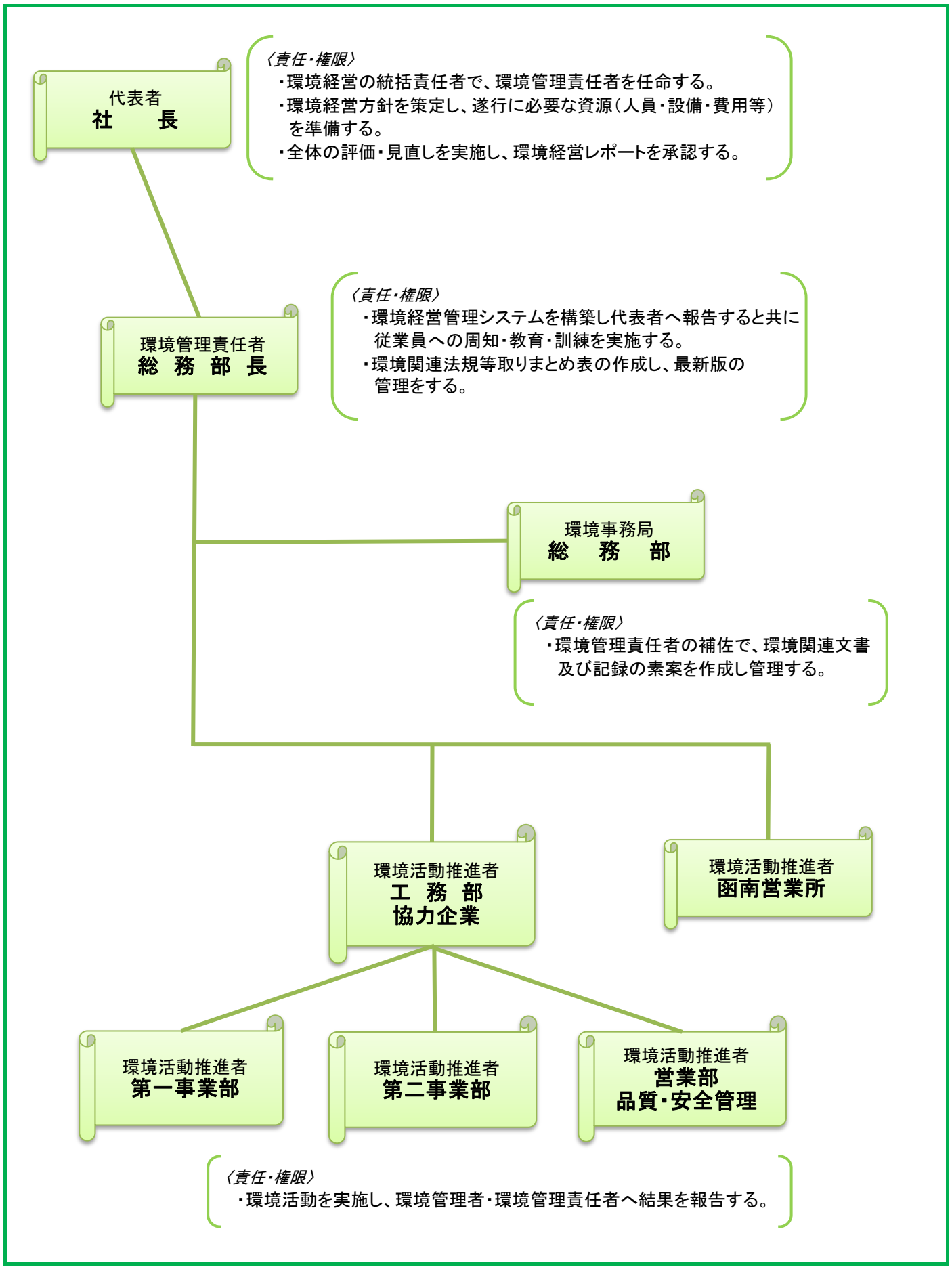
2. 環境保全に関わる法規制等を遵守します。

3. 本方針を全社員に周知徹底し、全社員参画による取り組みを目指します。また環境レポートを社内外に公開し、社会とのよりよいコミュニケーションを実践します。

制定　平成22年　9月　1日
株式会社　長沢電機
代表取締役　長澤　大
2019年　11月　1日更新

3. 環境経営システム実施体制図

認証・登録の範囲：組織全範囲



4.環境目標と実績

環境経営目標と実績

項目1.3.6は令和6年1月の事務所移転で年間実績が無いため、46期の数値を基準値としました。
項目4は直近3年の実績平均値の0.5%削減、1.2.3は直近3年の実績平均値の0.2%削減を目標としました。
項目6は基準値から1%削減、項目8は直近3年の実勢平均値の3%上昇を目標としました。
また、9.10.11については具体的な目標数値の設定をせず活動のみとしました。
項目5は再資源化率90%を、項目7は対象商品購入比率30%をそれぞれ目標数値として設定しました。

＊購入電力の排出係数については、平成30年度事業者別二酸化炭素排出係数（東京電力エナジーパートナー株式会社）の
　実排出係数　0.468Kg-CO2　にて算出とします。

＊化学物質の使用はありません。

＊LPGは使用量が少ないので、二酸化炭素排出量総量で見ています。

結果については、　下記の基準にて表示しました。

〇・・・目標達成
△・・・目標未達成　目標値　＋2.5%未満
□・・・目標未達成　目標値　＋2.5%以上　＋5%未満
×・・・目標未達成　目標値　＋5%以上

	単位	第44期	第45期	第46期	基準値 第43～45期　実績平均	目標基準値	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
1. 電力使用量	kwh	38,696	38,782	58,310	45,263	46期	目　標 結　果	58,193 64,515	×	−0.2%	−0.2%	−0.2%
2. ガソリン（軽油）使用量	ﾘｯﾄﾙ	19,879	22,816	19,954	20,883	直近3年	目　標 結　果	20,841 19,055	〇	−0.2%	−0.2%	−0.2%
3. 二酸化炭素排出量	Kg−CO2	65,403	71,752	73,937	70,364	46期	目　標 結　果	73,789 74,729	△	−0.2%	−0.2%	−0.2%
4. 廃棄物等総排出量	t	39.6	110.2	69.5	73.1	直近3年	目　標 結　果	72.7 81.3	×	−0.5%	−0.5%	−0.5%
5. 廃棄物再資源化率	%	88.1	94.2	89.5	90.6		目　標 結　果	90.0 90.8	〇	90.0%	90.0%	90.0%
6. 水使用量	㎥	123.0	136.0	156.0	138.3	46期	目　標 結　果	154.4 160.0	□	−1.0%	−1.0%	−1.0%
7. グリーン対象商品購入比率	%	33.9	37.1	41.3	−		目　標 結　果	30.0 22.3	×	30.0%	30.0%	30.0%
8. 省エネ提案見積	件	220	233	241	231	直近3年	目　標 結　果	238 173	×	+3%	+3%	+3%
9. 環境にやさしい施工		事前準備の徹底により効率的な施工、余剰材料の活用										
10. 地域への社会貢献		地域回収物への参加										
11. 作業効率の向上		作業工程の見直し、新しい取り組み										

4-1. 電力使用量

≪取り組み内容≫

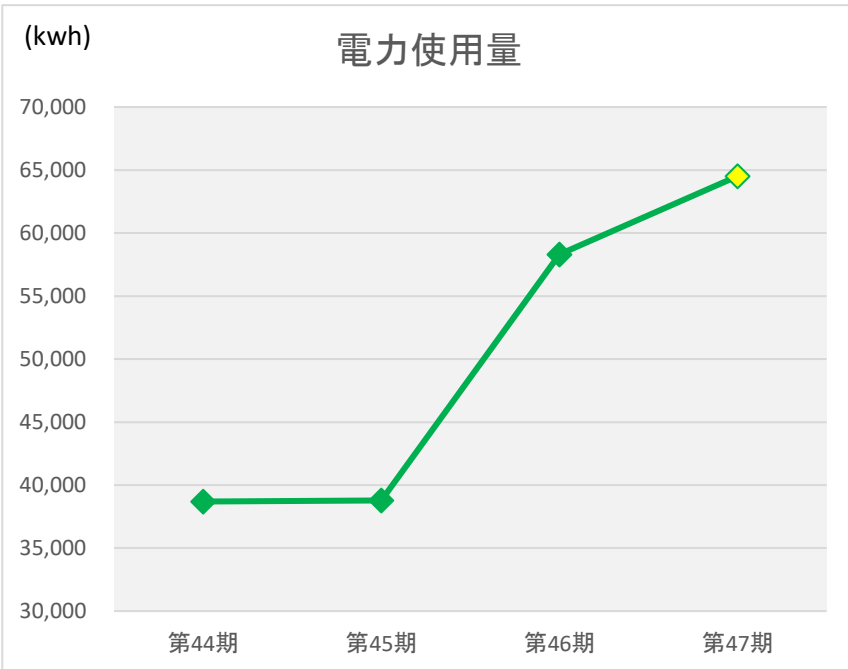
・エアコンのフィルター清掃をこまめに行う
・スイッチオフによる照明、OA機器の電力削減
・ノー残業デーを設ける（毎週火曜日18:00で退社）

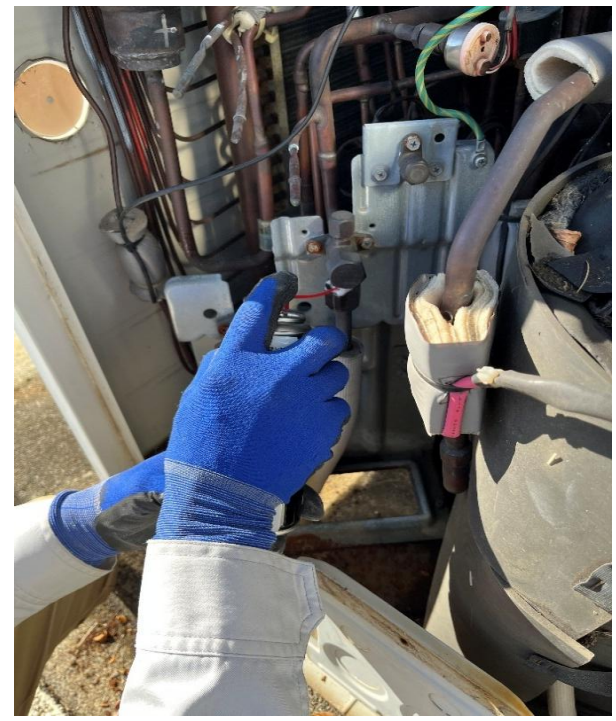
≪電力使用量の削減≫

（2024年1月～3月の数値）×4＝新基準値

	単位	第44期	第45期	第46期	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
使用量	kwh	35,053	38,696	58,310	目　標 結　果	58,193 64,515	×	−0.2%	−0.2%	−0.2%

社屋移転のため、46期の数値のみを参考に0.998をかけた数値を目標値とした。





エアコン点検の様子

≪47期　電力使用量の月別推移≫

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
花坂本社	kwh	4,734	3,426	4,212	4,375	5,686	4,885	3,687	2,851	3,575	6,113	6,951	6,984	57,479
函南営業所	kwh	683	629	583	633	575	541	598	566	504	573	649	502	7,036
合計	kwh	5,417	4,055	4,795	5,008	6,261	5,426	4,285	3,417	4,079	6,686	7,600	7,486	64,515

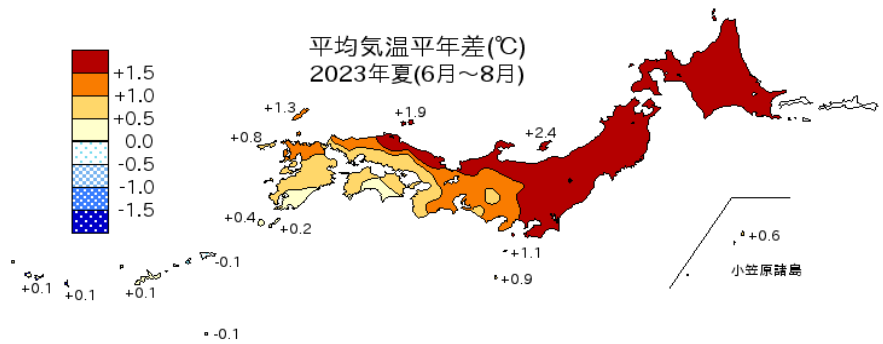
※函南営業所には第二駐車場使用量が含まれる。

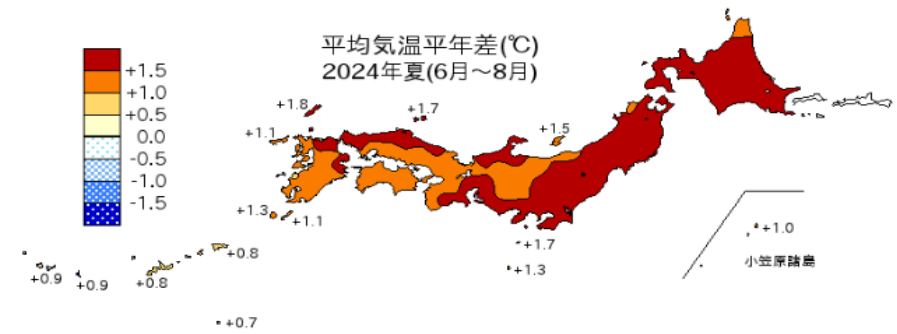
数値を参考にしている46期の内、9～11月は移転前の為、花坂本社の高圧電力の利用が少ない。

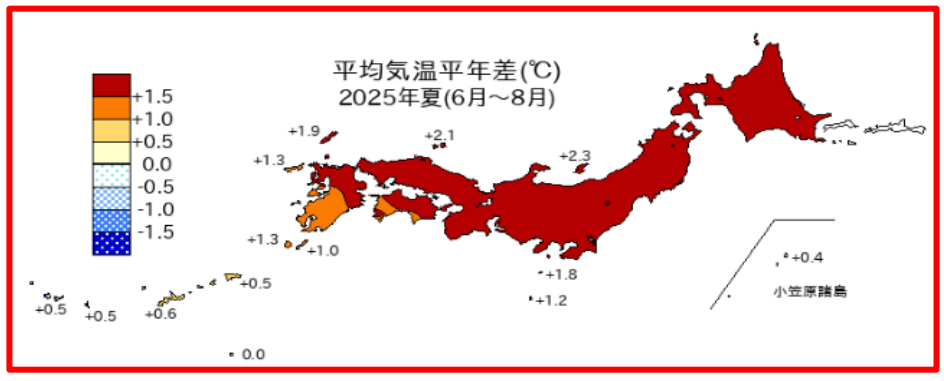
夏の平均気温平年差は、北日本で+3.4℃、東日本で+2.3℃、西日本で+1.7℃となり、1946年の統計開始以降、夏として1位の高温となった。

出典：気象庁ホームページ

気温は、夏を通じて偏西風が平年より北に偏って流れやすく、暖かい空気に覆われたため、北・東・西日本でかなり高く、1946年の統計開始以降、それぞれ夏として1位の高温となった。また、全国153の気象台等のうち132地点で、夏の平均気温が歴代1位の高温となった。日本の夏の平均気温（＊）の基準値からの偏差は+2.36℃となり、統計を開始した1898年以降の夏として1位の高温となった。







≪取り組みの評価≫

参考値の46期中はまだ社屋移転していない時期もあるため前年以前との比較は難しく、
電力使用量はかなり増加した。新社屋の高圧電力使用が大きく影響している。
さらに、2025年の夏は2023年から3年連続の酷暑で、その中でも歴代一位の高温を記録している。
空調の利用が多かったことが電力使用量増加の原因の一つとして挙げられる。

≪今後の取り組み≫

46期の通年の記録との比較でも今回のように大きな差が出たため、今後適切な目標値を検討が必要。
熱中症対策のためエアコンの過度な使用制限は行わないが、気温の変化が激しい時期に限らず
空調以外の節電を促していく。
特に照明の不要な電源OFFへの意識の向上等、社内啓発活動を継続していく。

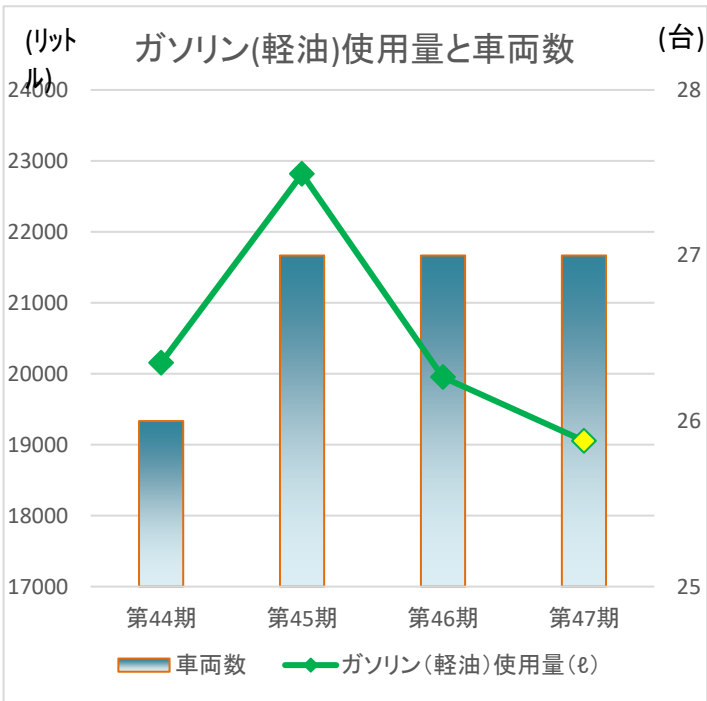
4-2. ガソリン・軽油使用量

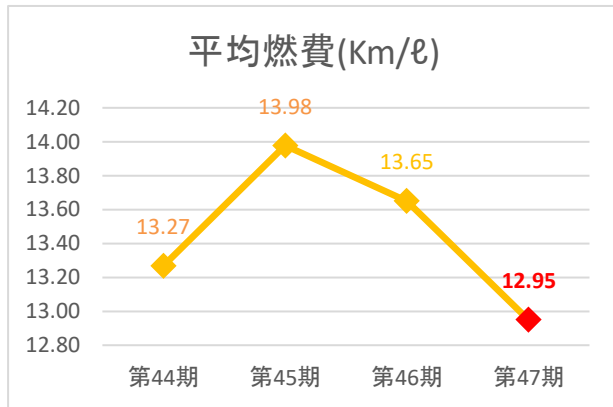
≪取り組み内容≫

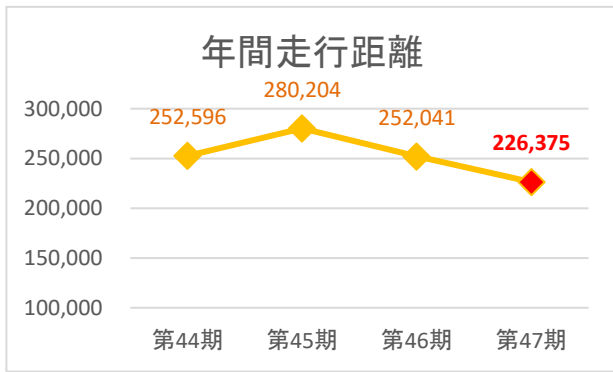
・車両の定期的な整備点検を行う（毎月末）
・急発進・急加速の禁止
・不必要なアイドリングの禁止

≪ガソリン・軽油使用量の削減≫

	単位	第44期	第45期	第46期	基準値 第43～45期 実績平均	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
使用量	ﾘｯﾄﾙ	20,153	22,816	19,954	20,974	目　標 結　果	20,932 19,055	○	−0.2%	−0.2%	−0.2%







≪ガソリン・軽油使用量の月別推移≫

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
46期使用量	ﾘｯﾄﾙ	1,719	1,882	1,902	1,450	1,598	1,778	1,402	1,485	1,531	1,557	1,960	1,689	19,954
47期使用量	ﾘｯﾄﾙ	1,821	1,680	1,297	1,682	1,382	1,353	1,457	1,269	1,401	1,678	2,239	1,795	19,055

≪取り組みの評価≫

車両老朽化等により車両の入れ替えを3台行ったが、平均燃費が前期に比べ、5.2%悪化した。
前期に比べ今期は走行距離が10.0%減り、ガソリン・軽油使用量が減少した。
前項でも言及した通り、夏の猛暑によりエアコン使用が多かった。
毎月車両担当者が行う点検報告を紙から電子の提出に変更した。

≪今後の取り組み≫

一台一台の燃費の悪化を防ぐため、パーツの摩耗などに特に気を付ける。
また、環境に配慮し、燃費を意識した運転を引き続き行うように社員へ啓発していく。
車両設備を徹底する。継続して取り組んでいる定期点検(月1回)時の摩耗部品の状況確認を含め、
より正確な点検と、車内美化に努めるよう、車両担当者に促していく。

4-3. 二酸化炭素排出量

≪取り組み内容≫

・二酸化炭素排出量減少に繋がる取り組みを継続する
・電力量、ガソリン・軽油使用量を減らすための取り組みを積極的に行う

≪二酸化炭素排出量の減少≫

	単位	第44期	第45期	第46期	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
排出量	Kg-CO2	65,403	71,752	73,937	目　標 結　果	73,789 74,729	△	-0.2%	-0.2%	-0.2%

社屋移転のため、46期の数値のみを参考に-0.2%を目標値とした。

≪取り組みの評価≫

1.01%程目標超過してしまった。

≪今後の取り組み≫

電力使用量についての目標値を社内アナウンスにて周知した上で、
削減への取り組みを促す。
使用場所ごとの消灯を徹底する。

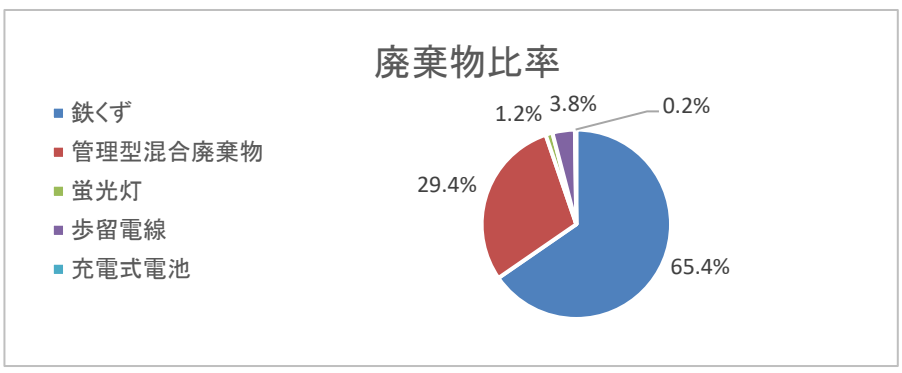
4-4. 廃棄物等総排出量

≪取り組み内容≫

・ペーパーレス化を進め、書類をデータで保存する
・コピー用紙の両面使用
・優良認定産廃処理業者と委託契約を更新する
・リサイクル品の分別回収の徹底
・小型充電式電池の分別回収

≪廃棄物排出量の削減・再資源化率の向上≫

	単位	第44期	第45期	第46期	基準値 第43～45期 実績平均	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
排出量	t	39.6	110.2	69.5	73.1	目　標 結　果	72.7 81.3	×	-0.5%	-0.5%	-0.5%
再資源化率	%	88.1	94.2	89.5	90.6	目　標 結　果	90.0 90.8	○	90.0%	90.0%	90.0%



≪取り組みの評価≫

全体の廃棄物排出量が目標値を大きく上回ってしまった。
主な理由として、大型の照明器具LED化工事が多かったことが挙げられる。
既存照明器具を撤去して処分する等の工事の内容による排出量増加の要因が大きかった。
ただし、鉄くずや歩留電線、蛍光灯の分別廃棄が多かったため、再資源化率の目標は達成できた。
新たに(社)JBRC様と契約、小型充電式電池の分別処分を行うようになった。
紙の削減を目的として、今まで紙で提出していた社有車点検表を電子データで提出する手法に変更した。
セキトランスシステム㈱様から指示を受け、ランプ類の回収を㈱ホクセイ様に依頼した。
優良事業者でないため必要であった現地確認を47期中は行わなかったため、48期期首にて実施した。

≪今後の取り組み≫

混合廃棄物を再資源化できるように分別を継続する。
廃棄用コンテナ内の隙間を減らし、効率の良い廃棄をする。
小型充電式電池の分別を行ったが、誤った分別があったと回収業者から指摘を受けたので、
正しく分別できるよう徹底する。

4-5. 水使用量

≪取り組み内容≫

・水を出しっぱなしにしない
・社用車洗車時の節水を心がける

≪水使用量の削減≫

	単位	第44期	第45期	第46期	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
使用量	㎥	123.0	136.0	156.0	目　標 結　果	154.4 160.0	□	−1.0%	−1.0%	−1.0%

社屋移転のため、46期の数値のみを参考に−0.2%を目標値とした。

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
花坂本社	㎥	10.5	10.5	11.5	11.5	11.5	11.5	10.5	10.5	11.5	11.5	14.5	14.5	140.0
函南営業所	㎥	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2.0	2.0	2.0	2.0	4.5	4.5	20.0
合計	㎥	11.0	11.0	10.0	20.0	10.0	10.0	14.5	14.5	14.0	14.0	13.5	13.5	156.0

≪取り組みの評価≫

前年に続き、目標の達成はできなかった。
現在使用が少ない函南営業所内で、漏水が発覚したのが大きく影響したと考えられる。
48期9月2日の検針で漏水の可能性を指摘され、数値から7･8月の期間からの漏水が推測される。
漏水の指摘を受けた時点で専門業者に調査を依頼、補修を実施している。

≪今後の取り組み≫

函南営業所の定期的なチェックを続ける。
今までの取り組みを継続し、社員の意識が常に保つように啓発を続ける。

4-6. グリーン対象商品購入比率

≪取り組み内容≫

･文房具のエコマーク商品の優先購入

≪グリーン対象商品購入比率の向上≫

	単位	第44期	第45期	第46期	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
購入比率	%	33.9	37.1	41.3	目　標 結　果	30.0 22.3	×	30.0%	30.0%	30.0%

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年間比率
月別購入比率	%	20.7	26.6	76.9	9.4	38.7	18.4	65.6	32.5	15.6	25.2	21.2	9.3	22.3

≪取り組みの評価≫

グリーン対象商品を選択する意識は徹底していたが、今期は目標達成できなかった。
夏の酷暑によって、購入した全商品の内熱中症対策飲料が多かったことが比率を下げたと思われる。
昨年と購入金額を比較すると、15万円減少している。

≪今後の取り組み≫

エコマーク商品を選択できるよう、社員に引き続き促す。
まとめ買いによる購入費削減や、現在使用している商品の見直しなどを継続する。

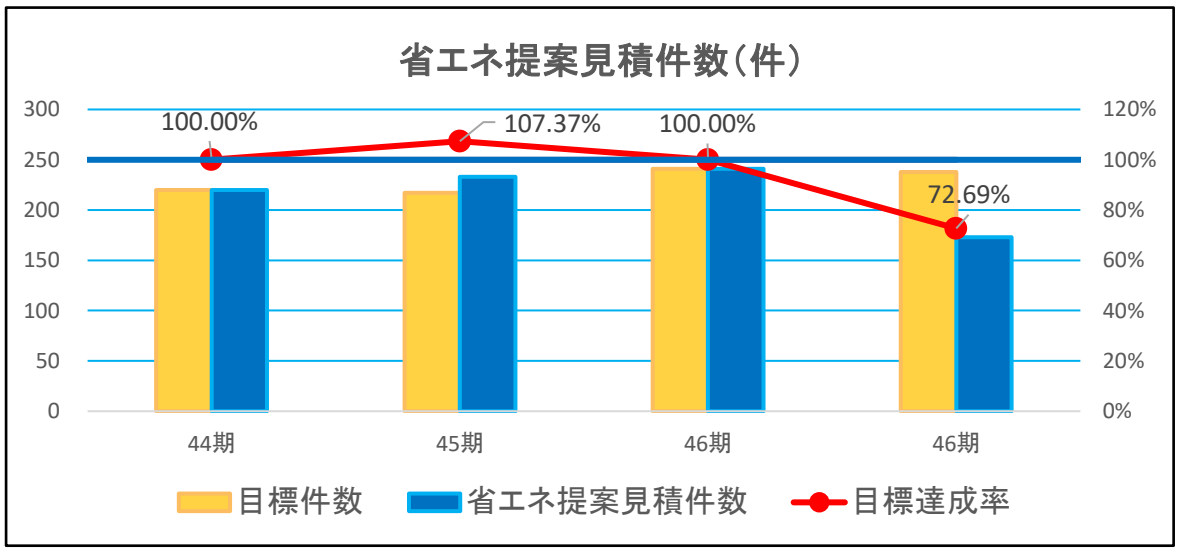
4-7. 省エネ提案見積

≪取り組み内容≫

・環境配慮型工事・商品のための情報収集
・省エネ見積の積極的な提案活動
・環境保護について啓発活動を行う

≪省エネ提案見積件数≫

	単位	第44期	第45期	第46期	基準値 第43～45期 実績平均	第47期 R6.9～R7.8			第48期	第49期	第50期
使用量	件	220	233	241	231	目　標 結　果	238 173	×	+3%	+3%	+3%



≪取り組みの評価≫

今期は目標達成できなかった。
原因として、世間的にLED化がかなり進んできており、一時期多かった官公庁からのLED化の
見積依頼が減ったことが要因の一つと考えられる。
また、積算金額の大きい見積物件が増加しており、1件あたりの積算に対する労務時間が
増えているため、件数は減少となっている。

≪今後の取り組み≫

蛍光灯、電球の生産終了が近づき、民間企業等からのLEDのニーズが高まることが予想される。
照明だけでなく、業務用空調の省エネ機器への更新など、検討しているお客様に合わせた提案を続ける。
また、より省エネにつながる商品やシステムの情報を積極的に収集し、新たな省エネ見積の方向性を
検討していきたい。

4-8.環境にやさしい施工

≪取り組み内容≫
・事前準備の徹底による効率的施工の実施
・余剰材料の活用

≪取り組みの評価≫
事前準備の徹底により効率的な作業を進める物件が増えた。
倉庫内にある余剰となった材料の活用を積極的に行った。
印刷物ではなくデータでの確認とスケジュール調整により効率化が進んでいる。
現場へノートパソコンを持ち込む機会が増えたことで、図面をデータにて
管理・確認する物件が増えた。

≪今後の取り組み≫
同様の取り組みを継続し、環境を意識した施工を心がけていく。
また、施工方法の向上を目指し、技術習得に努める。

4-9.地域への社会貢献

≪取り組み内容≫
・伊豆の国市社会福祉協議会　寄付
　使用済み切手・トイレットペーパー
（トイレットペーパーは段ボール回収の際に
交換してもらったものを寄付　令和7年8月27日）

≪取り組みの評価≫
移転により、今までと同じ活動が難しくなったため、
当期より新たな試みを始めた。
48期以降も継続していく。

≪今後の取り組み≫
使用済み切手とトイレットペーパーの保管場所を決め、
今後も毎期寄付ができるよう管理していく。

4-10.作業効率の向上

≪取り組み内容≫
・工具購入管理体制変更、各事業部ごとの予算管理体制へ
・社有車点検表　紙での提出から電子での提出に変更
・ドライブレコーダー電源接続、カメラアングルの定期確認

≪取り組みの評価≫
工具新規購入の管理を全体から事業部へ細分化し、予算を意識した工具管理が定着してきた。
社有車点検表を電子提出にしたことにより、車両担当者、データ集計者の作業削減につながった。

≪今後の取り組み≫
来期は社内の組閣変更があるため、それに伴い更に工具の管理を見直す予定である。
社有車点検表を電子提出にしたことにより、社有車点検の提出が早くなることが期待できる。
より正確に社有車の点検が続けられるよう、引き続き声掛けを続ける。

5.　その他の環境経営活動の取り組み（成果と課題）

5-1. 活動計画・実施

≪活動計画表≫

エコアクション２１　47期活動計画表（R6.9~R7.8）

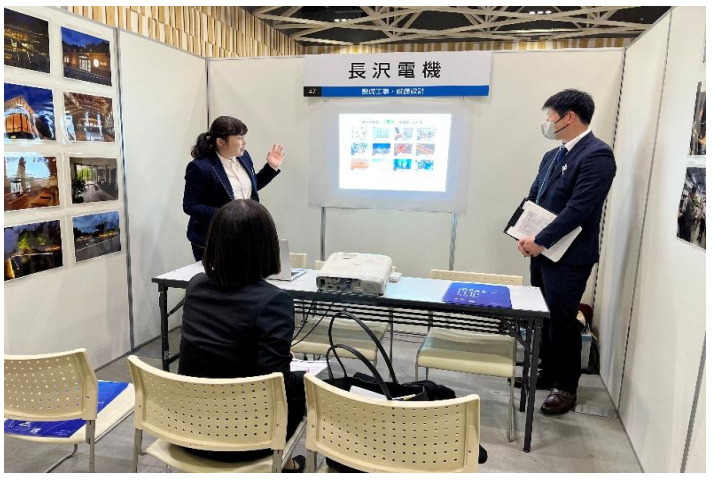
取組については、半期に集計報告をしたのち、下記の目標を掲げる

株式会社 長沢電機

	取組	取組内容	作業時期		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
1	電力使用量の削減	エアコンの設定温度を夏27℃、冬24℃にする			← 過年継続取組中 →											
		エアコンのフィルター清掃を定期的に行う		実施日	別表参照											
		花板本社　エアコンの定期点検実施(年4回)	9-11月　12-2月　3-5月　6-8月	実施日		10/30			1/20					6/20		8/12
		函南営業所　エアコンの定期点検実施(年4回)	9-11月　12-2月　3-5月　6-8月	実施日			11/8		1/20					6/20		8/12
		スイッチオフによる照明、OA機器の電力削減			← 過年継続取組中 →											
		ノー残業デーを設ける（毎週火曜日18：00で退社）			← 過年継続取組中 →											
2	ガソリン(軽油)使用量の削減	不必要なアイドリングの禁止			← 過年継続取組中 →											
		急発進・急加速の禁止			← 過年継続取組中 →											
		車両の定期的な整備点検を行い、毎月末点検表を記入・提出する		配布日	9/27	10/28	11/27	12/24	1/27	2/27	3/26	4/25	5/26	6/27	7/30	8/27
		点検表の期日内提出を目指す（月初3営業日以内）		回収日	10/3	11/6	12/4	1/8	2/5	3/5	4/4	5/7	6/4	7/3	8/6	9/3
3	ガス使用量の削減	ガスを無駄遣いしない			← 過年継続取組中 →											
4	二酸化炭素排出量の減少	二酸化炭素排出量減少に繋がる取り組みを継続する			← 過年継続取組中 →											
		電力量、ガソリン使用料を減らすための取り組みを積極的に行う			← 過年継続取組中 →											
5	廃棄物排出量の削減	コピー用紙の両面使用(裏紙トレイの設置)			← 過年継続取組中 →											
		リサイクル品の分別回収の徹底			← 過年継続取組中 →											
		優良認定産廃処理業者と委託契約を締結する			← 過年継続取組中 →											
6	水排水量の削減	水を出しっぱなしにしない			← 過年継続取組中 →											
		社用車洗車時の節水を心がける			← 過年継続取組中 →											
7	グリーン購入の推進	文房具のエコマーク商品の優先購入			← 過年継続取組中 →											
8	環境配慮型工事 技術商品の提案、推進	環境配慮型工事・商品のための情報収集			← 過年継続取組中 →											
		省エネ見積の積極的な提案活動			← 過年継続取組中 →											
		ＳＮＳを活用した情報発信			← 過年継続取組中 →											
		環境保護について啓発活動を行う			← 過年継続取組中 →											
9	環境にやさしい施工	仕様書通りの施工			← 過年継続取組中 →											
		材料の活用(廃材削減)			← 過年継続取組中 →											
10	地域への社会貢献	地域回収物への参加		実施日												8/27
11	作業効率の向上	工務班ごと工程会議を行い、効率の良い作業を目指す			← 過年継続取組中 →											
		材料発注方法のスリム化や、新たな作業方法の検討			← 過年継続取組中 →											
		パソコン・マナー活用術の提供(月1回)　毎月15日を基準日とする	奇数:パソコン・偶数:マナー	発信日	9/19	10/17	11/19	12/13	1/16	2/20	3/12	4/10	5/22	6/16	7/22	8/26
		目標達成(45期目標　粗利¥195,000,000-　事務所日報・経費日報除く)			← 過年継続取組中 →											
12	事故及び緊急事態における対応・訓練	緊急事態マニュアルの作成・周知			← 過年継続取組中 →											
		社内安全管理(対策)案の作成			← 過年継続取組中 →											
		花板本社　消火器の定期点検(年2回)	2月　8月	実施日						2/14						8/12
		函南営業所　消火器の定期点検(年2回)	2月　8月	実施日						2/14						8/12

年間作業を一覧にまとめた活動計画表の更新を継続した。
一覧にまとめる事で活動内容を社員で共有し、計画的に作業を行う事が出来た。
作業の漏れがないよう、引き続き計画表を活用していく。
それぞれの作業の手順や結果報告もデータ管理している。

5-2. 採用活動



就職セミナーへ出展をし、採用活動を積極的に行った。新たなイベントにも参加をした。
工務社員からの仕事紹介を、継続して行った。
また、静岡就職ネットを活用し、UIJターン対象の採用記事への掲載も増やした。
今後も人材確保のための活動を進めていく。

若年者における地元就職フェア(令和6年10月21日)
マイナビ合同就職セミナー(令和7年3月3日)
しずおか仕事図鑑転職フェア(令和7年3月27日)
ポリテクセンター静岡就職フェア(令和7年5月30日)
伊豆おシゴトさがしフェア(令和7年8月2日)

5-3. 社員教育（作業効率の向上を目指して）

≪研修・資格取得フォロー≫

新入社員対象の研修では、社会人としての心構えや業務作業のレクチャーを中心に実施した。
入社2年目以降5年未満の社員に対しては、仕事に対する姿勢を改めて見直したり、情報や悩みを共有できる場として、フォローアップ研修を行った。
業務に必要な資格取得を目指す対象者への試験対策や、試験時期の案内のフォロー活動を継続して行っている。

令和7年1月6日～1月10日	新入社員研修	
令和7年4月21日～4月25日	新入社員研修	
令和7年5月19日～5月23日	新入社員研修	（計3名　入社）
令和7年5月16日	フォローアップ研修	（4名参加）

≪パソコン活用術・ビジネスマナー活用術≫

2024年12月13日(金) 16:02
松尾　舞 [総務部]

ビジネス活用術　12月

今月はネットリテラシーについてです。
現代ではネットに関することが厳しくなっています。
例えば、文章・画像やイラストの使用・引用…など使用するにも注意が必要です。
また、不審なメールを開いてしまい会社の情報やサーバーを乗っ取られる、サーバーが停止してしまう、個人情報が盗まれる等の被害もあります。
インターネットの利用の仕方で、被害者にも加害者にもなりうることを意識しましょう。
そうならない為に、社員の皆さん一人一人意識をもってネットを利用していただきたいです。
今回はネットリテラシーが何か、どういう事に注意が必要か、どのような被害が起きてしまうことがあるか簡単に回覧しますのでぜひ読んでみてください。

※長沢電機でも個人情報取り扱いや画像使用等については、承諾いただいた書類に基づき適切に情報を管理・取り扱いしています。

ネットリテラシーとは
ネットリテラシーとは？ 身につけておくべき ネット社会の必須科目

活用術の配信は継続して月一回行っている。
47期は、Word、DocuWorks、PowerPointの便利な機能説明を行った。
また、インターネットの利用方法についてネットリテラシーや引用方法の注意点など、社内周知したい内容を盛り込んで発信した。

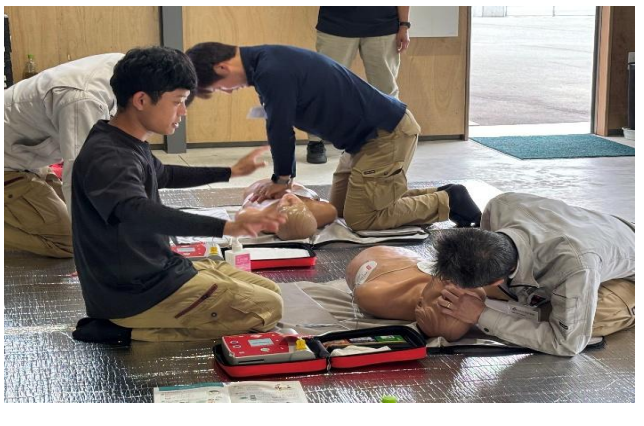
47期スケジュール

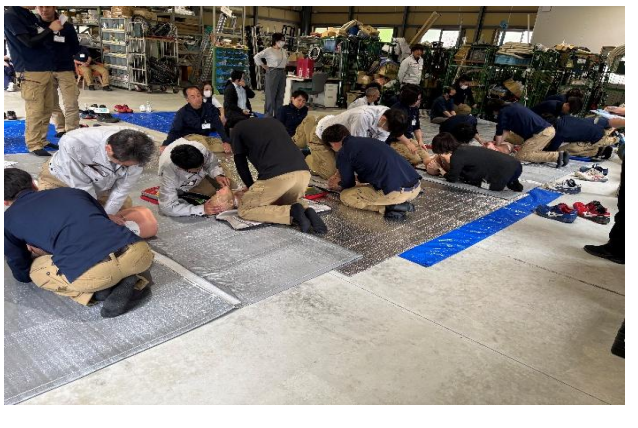
9月	英文を和文に変換	3月	PowerPoint基本操作
10月	収入印紙の意味、貼り方等	4月	フリー素材の利用の仕方
11月	すぐできるけがの応急処置等	5月	熱中症について対処法等
12月	ネットリテラシーとは？　簡単に説明	6月	PowerPoint便利機能
1月	引用の仕方	7月	DocuWorksについて
2月	文字均等割り付け	8月	敬語クイズ

≪普通救命講習≫

47期は緊急時の対応を把握できるよう、地元消防団協力のもと、普通救命講習を社内で行った。
参加できる社員全員が交代でその場でテストを受け、参加した社員は全員が受講証を取得した。
AED使用の流れ以外にも、物を喉に詰まらせた場合の対処等を教わった。

（令和7年5月16日　開催）



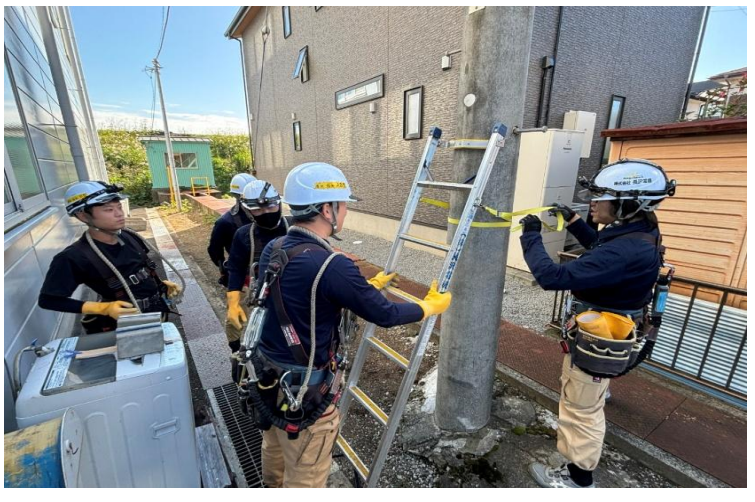


≪安全研修≫

安全研修を定期的に行い、安全作業に努めている。

上期は新社屋の敷地内で昇降柱の注意点等の実技演習を行った。
高所での作業は通常時以上にリスクを伴うため、現場での事故を防げるよう
正しい昇降の仕方について指導した。

（令和6年11月8日　実施）

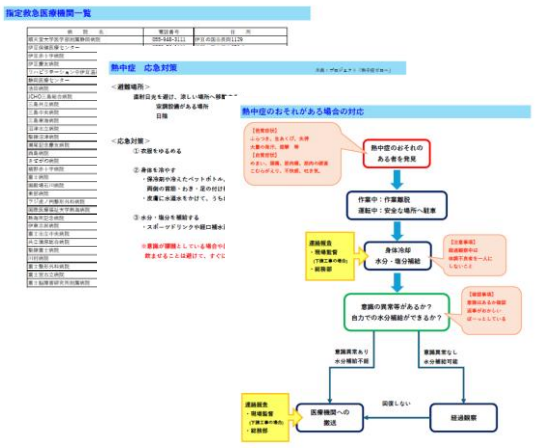


5-4. 環境教育

≪緊急事態一覧更新・熱中症対策マニュアル作成≫

熱中症対策についての法改正に伴い、熱中症対策マニュアルを作成、周知した。
前期社員研修で訪れた電設工業展にて展示されていた、熱中対策ウォッチを導入した。
現場作業や営業等の作業時に装着し、深部体温を測定することで熱中症リスクを科学的に判断できるようになった。
社内ネットワークにて緊急事態の対応についてマニュアルを周知している。
また、現場作業で出かける社員が多い為、利用している施工管理アプリにも掲載し、どこにいても閲覧できるように周知した。
緊急時、社員がそれぞれ行動できるようにしていく。

〈熱中症対策マニュアル〉



〈熱中対策ウォッチ 「カナリアプラス」導入〉

≪社内ネットワーク　安否確認訓練≫

47期中は訓練を見送ったが、8月1日に発生したロシアのカムチャッカ半島付近を震源とする地震で発報された津波警報への対応が適切に行うことができなかったため、安否確認を行えるように来期に取り組む。

≪クレーム対応≫

クレームについて報告・検証する体制となっている。
47期は、5件のクレームがあった。(いずれも、施工に対するもの)
同じようなクレームが再び発生しないよう原因と対策を明確にした上で
社内周知することにより、情報共有と注意喚起を行っている。

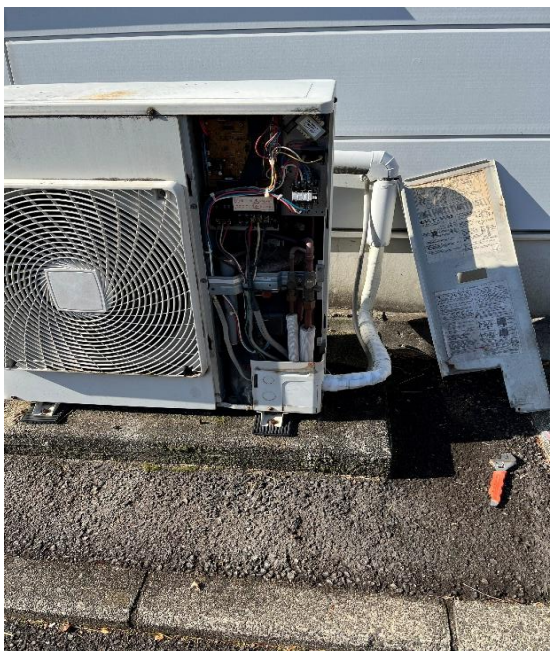
5-5. 環境活動

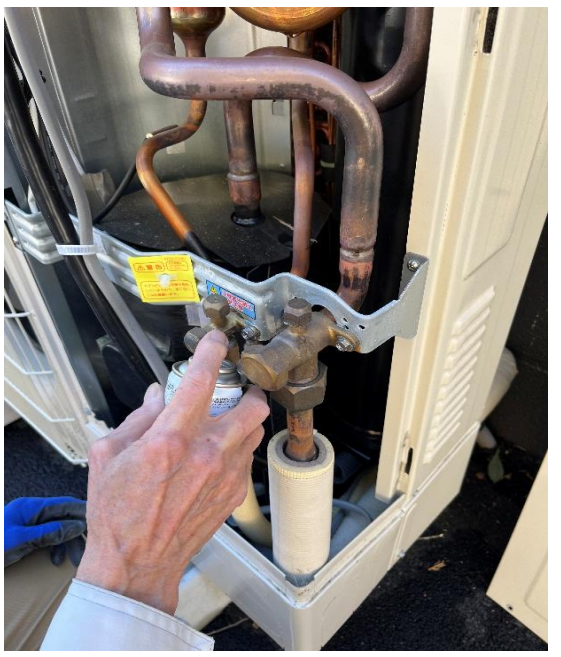
≪浄化槽法定検査≫

花坂本社・函南営業所ともに浄化槽法定検査を受けた。検査の数値等は「良好」だった。
（令和7年5月29日　実施）

≪エアコン清掃・点検≫

花坂本社のエアコン点検は4回行った。
同時に清掃を行った。
4回とも異常は見つからなかった。
（令和6年10月30日、令和7年1月20日、6月20日、8月12日　実施）
業務用エアコンは高所のため、外注で清掃を行った。
（令和6年10月30日、令和7年4月8日　実施）
函南営業所のエアコンの簡易点検を行った。
（令和6年11月8日、令和7年1月20日、6月20日、8月12日　実施）
4回とも異常は見つからなかった。





≪消火器点検・訓練≫

花坂本社・函南営業所の消火器の点検・訓練を行った。
それぞれ2回とも異常や期限が近いものは見つからなかった。
（令和7年2月14日、8月12日　実施）

≪AED設置≫

以前から導入を検討していたが、普通救命講習を受け社内へのAED設置を決定した。
（令和7年8月26日　設置）

6.　環境関連法規制の遵守状況

令和7年　8月31日評価
評価者:環境管理責任者　鈴木　紫

環境法規制等の名称	該当する設備・項目	法的要求事項の内容及び基準	遵守記録	評価 ○ 適正 △ 改善中
廃棄物処理法	金属くず・段ボール	産業廃棄物分別・保管基準の遵守	適正分別、保管場所、保管場所の表示	○
	廃プラスチック	産業廃棄物の収集・処理委託基準の遵守	処理委託契約書	○
	廃ガラス	産業廃棄物管理票による管理	マニフェスト管理・伝票保存	○
	蛍光灯・水銀灯	管理票交付状況の県知事への年度報告	管理票交付状況報告書 電子マニフェスト	○
資源有効利用促進法	小型充電式電池	登録業者による小型充電式電池の回収・再資源化	適正分別、適正処理、保管場所	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例		産業廃棄物処理委託業者の能力確認	処分業者への年一回実地確認 記録作成と5年間の保存 (委託先が優良認定業者であるときは免除)	△
伊豆の国市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物	一般廃棄物の分別排出	適正分別	○
建設リサイクル法 (元請けの場合)	建設副産物	建設副産物リサイクル計画書	請負契約書交付(工事施工計画書)	○
		再資源化完了報告書	実施(完了)報告	○
PCリサイクル法	パソコン・モニター	OA機器の収集	OA機器の回収業者委託	○
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・家庭用エアコン・洗濯機	特定家庭用機器の適切な廃棄	家電リサイクル券の発行	○
自動車リサイクル法	自動車	使用済自動車の再資源化	リサイクル費用預託・リサイクル券受取	○
騒音規制法、振動規制法、静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業	特定建設作業を行う際の届出	特定建設作業を行う際の届出提出、規制時間、作業日の厳守	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	業務用空調機	廃棄フロンの適切な処置 簡易点検の実施	フロン回収登録業者への委託 4半期に一回の点検	○
グリーン購入法	文房具・什器類	環境物品の購入推進	グリーンマーク付与の文房具購入推進	○
浄化槽法	浄化槽	保守点検の実施 水質検査	3ヶ月に1度 年1回	○
建設業法		建設業許可の届出	5年毎に更新	○
電気工事業の業務の適正化に関する法律		電気事業の運営	経済産業大臣の許可・工事基準の遵守	○
消防法	危険物	火災の予防	危険物取扱と火災予防対応	○

産業廃棄物のうち、水銀灯の最終処分業者が㈱ホクセイ様へ変更となったが、年一回の現地確認は
日程の関係で翌期(48期)の10月3日(金)に実施した。
また、関係当局よりの違反等の指摘並びに利害関係者からの苦情・訴訟も過去3年間なし。

7.　代表者による評価と見直し

	2025/11/7	評価者：代表取締役　　長澤　大
収集した資料	①エコアクション21システムの構築内容 ②評価機関のシステム運用状況 ③目標達成状況と活動計画実施状況	
評価内容	①環境経営システムが有効に機能しているか ②環境への取り組みは適切に実施しているか	
環境管理責任者の改善意見	新社屋で通期での活動となった47期は、目標値の設定が難しい1年であった。 環境目標の未達が増えたが、環境経営活動をより高められるよう、環境事務局が様々な取り組みを計画、実践してくれた。 48期に持ち越しになった課題に取り組むと共に、経営にプラスとなる活動を創出していきたい。	
社長の評価結果	前期より減収となったものの増益につながったのは、社員の原価管理意識の高さとムリ・ムダ・ムラを減らす日ごろの活動の賜物であろう。 当初不安視していた採用活動が順調に推移し、既存社員の資格取得へのチャレンジも結果が出始めている。 環境経営活動が会社に根付き、少なからず更なる飛躍への後押しになっている。 47期に実施に至れなかった災害時対応の構築を48期には確立・実施できるよう期待する。	
変更の必要性の判断	①環境経営方針　必要　(不要) ②環境経営目標・活動計画　(必要)　不要 ③実施体制　必要　(不要)	[社長所見] 数値目標等の見直しを求めたい
環境管理責任者への指示事項	新社屋通期実績を踏まえた数値目標の見直しと、災害時の社内対応の構築を求める。	